

事後評価結果（平成20年度）

担当課：長崎県土木部道路建設課
担当課長名：村岡和彦

事業名	一般国道384号 <small>うちおれ</small> 打折バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	長崎県
起終点	自：長崎県五島市三井楽町浜ノ畔 至：長崎県五島市岐宿町川原	延長	3.9 km		

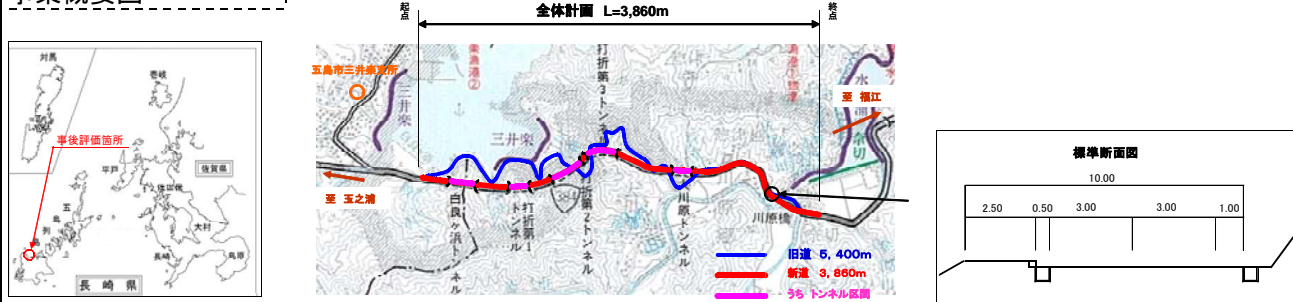
事業概要

一般国道384号は五島市富江町を起点とし、福江島をほぼ一周する形で北上し、福江港から上五島の中通島を経由し、佐世保市へ至る約98kmの主要な幹線道路であり、五島列島の産業経済の発展、地域振興、地域交流を担う道路として重要な路線である。

事業の目的・必要性

一般国道384号の三井楽町浜ノ畔から岐宿町川原間は、幅員が狭いうえに急カーブが多く、大型車輛の通行や車の離合が困難で不便を強いられていた。その解消のため、バイパスを整備することにより、道路交通の円滑化と交通安全の確保を図る。

事業概要図



事業の 効果等	事業期間	事業化年度：H3年度 都市計画決定	用地着手：H4年度 工事着手：H6年度	供用年：(当初) H15年度 (実績) H15年度	変動	なし	
	事業費	計画時 (完成)	84億円 (H12再評価)	実績 (完成)	79億円	変動	0.9倍
	交通量 (当該路線)	計画時 (完成)	H17/3, 185 台/日	実績 (完成)	H17/3, 740 台/日	変動	117%
旅行速度向上		34 → 51km/h (H20実測) (供用前現道→当該路線) (供用前年次) 3年度 (供用後年次) 17年度		交通事故減少		→ 件/億台キロ (供用前現道→供用後現道) (供用直前年次) 年度 (供用後年次) 年度	
費用対効果 分析結果 (事後)		B/C : 1.7		総費用 : 114億円 (事業費: 107億円, 維持管理費: 7億円)		総便益 : 195億円 (走行時間短縮便益: 185億円, 走行経費減少便益: 9億円, 交通事故減少便益: 1億円)	
事業遅延によるコスト増		費用増加額 : -		便益減少額 : -		基準年 : 平成20年	

事業遅延の理由

-

客観的評価指標に対応する事後評価項目

- 通過時間の短縮 【区間延長が約1.5km短縮、時間短縮約8分】
 - ・重要港湾（福江港）、第三種空港（福江空港）、二次医療施設（五島中央病院）へのアクセスが向上。
- 道路線形の改良、車道幅員の拡大 【4mが→6mへ】
 - ・線形不良区間の解消等による安全性向上。
 - ・現道における大型車のすれ違い困難区間が解消。
- 歩道の設置
 - ・安全は歩行空間を確保。

	その他評価すべきと判断した項目 特になし
事業 環境 変化	環境影響評価に対応する項目 環境影響評価、対象外事業
	その他評価すべきと判断した項目 特になし
事業を巡る社会経済情勢等の変化 ・平成16年8月1日に1市5町が合併し五島市となった。	
今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性 ・整備効果が発揮できていると判断されるため必要性はない。 ・整備効果は利用者に認知され、産業経済の発展、地域振興、地域交流等の重要な役割を果たしており、現段階での改善処置は必要ない。	
計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性 特になし	
特記事項 特になし	

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。